

日本図書館文化史研究会
2008 年度第 1 回研究例会のご案内

『ニューズレター』前号で、3月15日に臨時研究例会を開催し、『図書館人物伝』の総括を行うことのお知らせしました。しかしながら、事前参加申込者が僅少のため、臨時研究例会の開催を取りやめました（運営委員会が開催）。参加を予定していた方々に深くお詫び申し上げます。

『図書館人物伝』は研究会の25周年事業の一環として刊行されたものであり、その総括は不可欠であるといえます。そこで、2008年度第1回の研究例会であらためて総括を行うこととし、下記のようにお二方に報告をお願いしました。多くの方のご参加をお待ちしています。

なお、今回ご報告をお願いした高橋和子氏は、『図書館雑誌』の「図書館員の本棚」欄に「図書館人物伝」の紹介を執筆される予定となっています。

記

- 日 時 7月12日(土) 14時30分～17時
- 場 所 明治大学 アカデミーコモン8階 司書・司書教諭室
http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/campus.html
※ アカデミーコモンの位置、交通等は次ページ掲載の地図をご参照ください。
- 参加費 無料
- 申込方法 参加ご希望の方は、本研究会事務局まで、郵便、ファックス、または電子メールでお申込ください。
- 申込締切 7月9日(必着) をお願いします。

【発表1】

- 報告者
高橋 和子（相模女子大学名誉教授）
- 報告題名
『図書館人物伝：図書館を育てた20人の功績と生涯』「日本人編」を読む
- 報告要旨
「図書館の発展に尽くした人物の本格的な評伝集」と銘打った本書は、副題にもあるように図書館を育てた20人の功績と生涯を論じた力作ぞろいの人物伝である。
このたび本会研究例会での発表の機会を与您にいただいたので「日本人編」について扱わせていただくこととした。
執筆者の方々が図書館活動との係わりにおいて、あるいは研究主題として取り組まれてきた、図書館先人達10人の人物評伝は、読む側（私自身）の労力も結構要求されるもので

あった。

被伝者としての人物が図書館界に残した業績については、おおまかには理解していたが、細分にわたっては評伝を読むなかから知識を得た部分もある様に思う。筆者の方々の調査、研究姿勢に敬意を表したい。

評伝を通して若干のコメントができればと考えている。

【発表2】

○ 報告者

泉山 靖人（東北大学）

○ 報告題名

図書館人物伝「外国人篇」を読む

○ 報告要旨

『図書館人物伝』の外国人篇は、ドイツ、カナダ、米国、ハンガリー、シンガポール（およびマレーシア）で活躍した10名の人物について、筆者各々の視点から、その生涯を描いている。

本報告では、それらを概括するとともに、本書における人物研究から見えるものの分析を試みたい。

